11(2)　別海町

［所在地］
〒086−0205
野付郡別海町別海常盤町280番地
TEL 0153−75−2111
FAX 0153−75−0371
ホームページアドレス
https://betsukai.jp/

［沿革］

町名別海はアイヌ語「ペッ・カイェ」（川の折れ曲がっている）から転訛した。元禄年間、漁業を行う人々の手によって拓かれ、初めは松前藩に属し、明治２年に90余人の移住者をみる。明治12年別海外四ヶ村戸長役場を設置。同39年和田村（現根室市）の一部を編入。大正12年４月二級町村制施行、村名を別海村とした。昭和30年４月中標津町へ一部を分割。同46年４月町制施行。

［基本計画］

●第７次別海町総合計画　R1～R10

［概要・特色］

別海町は、乳牛・肉牛を合わせて11万頭を超え、生乳生産量日本一を誇る大型酪農地帯で日本を代表する牧歌的景観と、北海シマエビ・サケ・ホタテなど増殖事業による安定した豊かな水産資源、野付風蓮道立自然公園など、豊かな自然に恵まれた町です。平成16年10月には「野付半島と打瀬舟」が北海道遺産に、平成17年11月には「野付半島・野付湾」「風蓮湖・春国岱」がラムサール条約湿地に登録されました。

野付半島は全長26kmの日本最大の砂嘴（さし）で、トドワラ、ナラワラの特異な景観や、春と秋に北海シマエビ漁で野付湾に浮かぶ打瀬舟の風景が多くの人々を魅了します。さらに、250種以上の野鳥を観察することができ、平成28年1月にはハイド（野鳥観察小屋）が設置されました。大自然がそのまま残るこの地域は、半島全体に広がる原生花園の衣替えを楽しむことができます。また、根室湾につながる汽水湖である風蓮湖も、野付半島とともに恵み豊かな渡り鳥の楽園として知られています。

令和元年度には「第７次別海町総合計画」がスタートし、将来像として掲げた「人がつながり　未来につながる　海と大地に夢があふれるまち～いつも心に広がるふるさと　べつかい～」の実現に向け、人と人との結びつきの強化や産業の活性化を図りながら、安全・安心で快適なまちづくりを進めていきます。

●牧歌的風景

●打瀬舟（北海道遺産「野付半島と打瀬舟」）

［イベント］

別海町尾岱沼潮干狩りフェスティバル　５月上旬～６月上旬

ホッキ市	５月中旬の日曜日
尾岱沼えびまつり	６月下旬～７月上旬
別海町産業祭	９月第３土曜日、日曜日
別海町パイロットマラソン	10月第１日曜日
西別川あきあじまつり	10月第２日曜日

●別海町産業祭

●西別川あきあじまつり

特産品

●牛乳・乳製品
●ホタテ
●北海シマエビ
●西別鮭
●ホッキ
●アサリ
●牛肉　など